



平成 30 年 1 月 31 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 一 蔵
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 河 端 義 彦
(コード：6186 東証第一部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 室 長 渡 邊 正 樹
(TEL：03-5288-7111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 10 日に公表した平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	16,791	1,152	1,163	779	143 円 22 銭
今回修正予想(B)	16,300	732	758	522	96 円 37 銭
増減額(B-A)	△490	△419	△405	△256	
増減率(%)	△2.9	△36.4	△34.8	△33.0	
(ご参考)前期実績	15,494	1,035	1,139	760	138 円 87 銭

2. 修正の理由

(売上高)

和装事業では、店内外における催事が奏功し、振袖、一般呉服の受注が堅調に推移していることから業績予想を 203 百万円上回る見通しとなりました。ウェディング事業では、施行組数が想定を下回ったうえ施行単価を押し下げる少人数婚の施行組数の増加により業績予想を 694 百万円下回る見通しとなりました。

したがって、売上高につきましては前回発表予想を合計 490 百万円下方修正いたします。

(営業利益)

和装事業では、店内外における催事への来場者数が増加傾向にあることから、計画外の催事を追加開催し受注拡大を実現した一方で、催事関連費用や広告宣伝費が増加したことにより業績予想を 57 百万円下回る見通しとなりました。ウェディング事業では、売上高減少による影響から業績予想を 421 百万円下回る見通しとなりました。なお、本社管理費を中心とした費用を 59 百万円削減できる見通しです。

したがって、営業利益につきましては前回発表予想を合計 419 百万円下方修正いたします。

(経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益)

上記による影響から前回発表予想を下回る見通しとなりました。

なお、一蔵グループでは更なる成長に向け、和装事業では、きものの着方教室事業の拡大、WEBを中心とした認知度向上施策の強化、連結子会社である株式会社京都きもの学院とのシナジーによる既存事業の強化、SPA（製造小売り）強化、また、ウエディング事業では、沖縄におけるリゾートウエディング事業や中国上海市における結婚式場の開業に向けた着実な推進、並びに既存事業の強化などの取り組みを着実に実行しております。

皆様の変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

3. 配当予想について

配当予想につきましては、平成29年5月10日の決算発表時に公表した内容から変更はありません。

【見通しに関する留意事項】

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上